

学校行事研究部

1 研究主題「豊かなかわりの中で主体性を育む学校行事の創造」 ～自主的・実践的に活動する力を育てる学校行事～

2 研究主題について

今年度は昨年度同様、コロナ禍で学校行事の精選を余儀なくされる中、どのような工夫をして行事を実施していくのか、またその中で、子どもが主体的に活動し、自己有用感や自己肯定感を高める場面があれば、研究協議の中で共有することをねらいとして研究を進めました。行事を実施するにあたり、自己有用感や自己肯定感を高めるため、教師は見通しを持ち、子どもの声をしっかり受け止め、行事に生かしていくことが大切だという視点も持ちました。

実践提案の他に、毎年開催している横浜市民防災センターでの研修や講演会も設定するとともに、行事に関する情報交換の場を設定し、情報の共有を図ることを目指しました。

3 研究方法（コロナ禍で工夫したこと含めて記入）

研究方法としては、5月の総会を书面提案にし、6月はオンラインで役員モデル提案を行いました。7月からの定例研究会は、港北小学校において、椅子と椅子の間隔を十分に取り、常に換気を行い、開催しました。横浜市民防災センターでは、少人数で、消毒の徹底、距離を置く等、工夫をしながら有意義な研修を行いました。

4 年間活動(事業)報告

月 日	内 容	月 日	内 容
5月11日	書面提案	12月1日	なし
6月16日	定例研究会 モデル提案 (オンライン)	1月12日	定例会 実践提案
7月7日	定例研究会 情報交換	2月9日	全国大会に向けて 役員会
9月8日	中止	3月9日	第二次研究大会
10月6日	研修会 横浜市民防災センター	3月30日	役員会
11月10日	講演会		

5 研究の成果と課題（含 第二次研究大会）

今年度は、昨年同様コロナ禍で行事自体の変更・中止が余儀なくされました。そのため、各校で実施した行事について工夫したことを中心に協議を行いました。遠足・集団宿泊的行事や運動会、授業参観・懇談会でのリモートツールの有効的な活用の工夫等、多岐に渡る情報交換ができました。定例会においても、児童の自己有用感や自己肯定感を高める行事の実践提案がなされ、今後の各学校での取り組みに生かすことができる内容でした。

また10月の横浜市民防災センターでの研修や、11月の防災塾の塾長の方の講演会を通して、防災意識を高めるとともに「自助共助」の大切さを実感できました。

来年度は、様々な行事の内容を吟味し、身につけさせたい資質・能力を明確にして、児童の自己有用感や自己肯定感を高められる行事を目指して研究を深めていきたいと考えています。